昭和医科大学歯学部だより

2026年9・10月号　　通算第242号

令和８年度大学院秋季修了式が挙行されました

＜歯学研究科長　高見　正道＞



令和8年9月25日午後4時より，昭和医科大学上條記念館において，令和8年度大学院秋季修了式が挙行されました．

昭和医科大学管弦楽団による演奏の後，多くの保護者や大学関係者が見守る中，上條学長より各研究科の学生代表に学位記が授与されました．今回は，医学研究科10名，歯学研究科5名，薬学研究科4名に博士，保健医療学研究科博士前期課程10名に修士，博士後期期課程2名に博士の学位が授与されました．続いて，上條学長から学位取得を祝うとともに，これまでの努力を称え，今後それぞれの分野でさらなる活躍を期待する旨の告辞が述べられました．

昭和医科大学宣言，校歌斉唱の後，各研究科に分かれ，研究科長から修了生一人ひとりに学位記を手渡し，最後に記念撮影を行いました．このたび学位を取得され，新たな一歩を踏み出された皆様，誠におめでとうございます．大学院で培った知識と研究経験を生かし，それぞれの分野でますます活躍されることを心より期待しています．

学生後援会秋季部会が開催されました　＜教育委員長　船津　敬弘＞



歯学部学生後援会秋季部会が 10 月 17 日に開催されました．馬場歯学部長から 2028 年に迎える創立 100 周年を見据えて，新たな取組みとしての 1 年次の解剖実習や鷺沼新キャンパスに関して紹介がされました．私からは各学年の状況についての説明，高見研究科長からは，マルチドクタープログラムの紹介がされました．野中学生部長からは災害時の安否確認システム運用に関する説明と各学年の主任，副主任の紹介がありました．また，指導担任，修学支援担当教員と保護者との個別面談も行われ，ご家庭におけるご不安やご質問にも対応いたしました．面談終了後は上條記念館において全学部合同での懇親会が開催され，情報交換が盛んに行われました．今後も学生たちの大学生活が充実したものとなるよう，保護者の皆様のご協力をいただきながら，取組んで参りたいと存じます．

P.1　【令和８年度大学院秋季修了式が挙行されました】歯学研究科長　高見　正道
【学生後援会秋季部会が開催されました】教育委員長　船津　敬弘
P.2　【旗ケ岡祭が開催されました】歯学部学生部長　野中　直子
【歯学を志す世界の仲間と広がった新たな視野】歯学部４年生　中川　理聡
【国際交流を通じて得た学びと気づき】歯学部４年生　光本　侑生
P.3　【チュラロンコン大学ブリッジプログラムを終えて】歯学部４年生　井上　美咲
【教育者のためのワークショップ ビギナーズコースに参加しました】口腔生化学講座　安藤　雄太郎
P.4　【教育者のためのワークショップ アドバンストコースに参加しました】口腔微生物学講座　桑田　啓貴
【行事予定】広報委員長　柴田　陽　【編集後記】口腔生化学講座　山田　篤

旗ケ岡祭が開催されました

＜歯学部学生部長　野中　直子＞



第66回旗ケ岡祭が10月10日（土）・11日（日）の2日間，旗の台キャンパスで開催されました．両日とも晴天に恵まれ，中庭ステージでは応援指導部の演舞や第二延山小学校音楽隊の出演があり，地域の皆様との温かな交流が生まれました．中庭には15種類の模擬店が並び，4・5号館では多彩な展示が行われ，上條講堂では恒例の「昭和医科大名人会」が満員の盛況となりました．今回のテーマ「花結」は，水引の結び方の一つで，何度でも結び直せることから，“人と人とのご縁を大切にし，未来へ続くつながりを育みたい”という学生の思いが込められています．学生・教職員・地域の皆様が互いに結び合う温かな雰囲気に満ちた2日間となりました．開催にあたりご協賛いただいた企業様，地域商店街の皆様，準備から運営まで尽力された学生課はじめ大学職員の皆様に深く感謝申し上げます．

なお，10月10日15時からは，第19回昭和医科大学ホームカミングデーが開催され，招待学年（医学部44・69回生，歯学部19回生，薬学部7・32回生，保健医療学部11回生）の卒業生が再会を喜び合い，和やかな交流の時間となりました．

歯学を志す世界の仲間と広がった新たな視野

＜歯学部4年生　中川　理聡＞

タイでのブリッジプログラムは，私にとってとても刺激的で，思い出に残る経験になりました．中でも一番印象に残っているのは，7か国11大学から集まった歯学部生と一緒に過ごしたことです．最初は英語で話すことに緊張しましたが，文化や大学生活，趣味，将来のことなどを話しているうちに自然と仲良くなり，数日間とは思えないほど距離が近くなりました．うまく英語が出てこない場面もありましたが，それでも伝えようとすることの大切さを実感しました．また，ワックスアップや矯正の実習，チュラロンコン大学の講義など，普段とは違う環境で歯科を学べたことも貴重な経験でした．専門用語が多く，講義を理解するのに苦労した部分もありましたが，海外の歯学教育を実際に見ることができ，とても新鮮でした．タイのお菓子作りやバンコク観光など，みんなと笑いながら過ごした時間も忘れられません．この研修で出会った友人や，そこで得た経験をこれからの学生生活にもつなげていきたいと思います．

国際交流を通じて得た学びと気づき

＜歯学部4年生　光本　侑生＞

今回私はブリッジプログラムに参加し，タイのチュラロンコン大学で各国の歯学部生と交流し様々なことを体験しました．参加のきっかけは，昨年このプログラムに参加した友人から体験談を聞き，海外の歯科医療や歯学教育，文化の違いについて興味を持ったことです．現地では，開会式の後に各国の歯学部の人達と自己紹介を行い，夕食ではウェルカムパーティーが催され，海外の学生たちと積極的にコミュニケーションを取り，国籍を超えた親睦を深めることができました．歯科研修では大学施設の見学や矯正用のワイヤーの屈曲などを体験しました．また，ワット・アルンやワット・ポーの観光，伝統菓子作り体験も行われました．私は海外の学生との会話を通じて歯科医療や教育制度は国によって大きく異なることを学べましたが，英語でのコミュニケーションの難しさも実感し，継続的な英語学習の必要性を痛感し改善する良い機会になりました．私は今回の経験を生かし，今後は海外の歯科医療にも関心を広げ，国際的な視点を持つ歯科医師を目指していきたいです．

チュラロンコン大学ブリッジプログラムを終えて

＜歯学部4年生　井上　美咲＞

大学のプログラムの一環としてチュラロンコン大学を訪問し，歯学部の施設や附属診療所を見学しました．現地学生やアジア各国から参加した学生と交流し，各国の歯学教育を学びました．チュラロンコン大学の学生には，修学年数や入学試験，授業内容，タイにおける歯学部の難易度などについて質問し，教育制度の違いを知ることができました．韓国，インドネシア，マレーシア，ネパール，フィリピン，ウズベキスタンなどの学生とも意見交換を行い，各国の修学年数やカリキュラム，学費について学びました．最終日のディナーでは，浴衣に興味を持った学生から質問を受け，日本文化を伝える機会も得ました．私は他国の伝統文化について知識がないことに気づき，相手の文化を理解し学ぶ姿勢の大切さを実感しました．今回の交流を通して，直接コミュニケーションを取りながら学ぶことの重要性を学び，歯科医師を目指す上でのモチベーションもさらに高まりました．



教育者のためのワークショップ ビギナーズコースに参加しました

＜口腔生化学講座　安藤　雄太郎＞



８月１６日から１８日にかけて，富士吉田キャンパスで開催された「第１６回教育者のためのワークショップ ビギナーズコース」に参加しました．

「真夏」「クーラーなし」「学生寮」と聞き，参加前は少々身構えておりましたが，振り返れば実りの多い３日間でした．ワークショップでは，学生の到達目標をどのように設定し，何をどのように教え，その成果をどう公正に評価するのかという授業設計の考え方を学びました．学生時代は，用意されたカリキュラムに沿って授業を受け，その背景を意識することは全くありませんでしたが，今回初めて「教える側」の視点から大学教育を考える機会となりました．

ほぼ缶詰状態の３日間，学部の枠を越えて集まった先生方と寝食を共にしながら議論を重ね，それぞれの教育観に触れられたことも大きな収穫でした．そうした交流は，ワークショップの冒頭で投げかけられた「どのような教育者になりたいか」という問いについて，自分なりに考えるきっかけにもなりました．

自分自身が学問に真摯に向き合い，その面白さや奥深さを学生と共有できる教育者を目指し，今後も精進していきたいと思います．

教育者のためのワークショップ アドバンストコースに参加しました

＜口腔微生物学講座　桑田　啓貴＞



8月27～28日，教育者のためのワークショップ アドバンストコースに参加致しました． 初日は電車の遅れがあり開始が一時間遅れましたが，昨年同様，富士吉田キャンパスにて1泊2日で開催され，日中は暑かったものの朝夕は涼しく，快適な環境のもと充実した討議が行われました．今年の歯学部のテーマは「カリキュラム2026における進級判定基準と臨床系科目の検討」でした．アジェンダに基づき，「D3～4年における臨床系科目の確認」および「科目の教育評価方法と進級判定基準の検討」等の項目について具体的な議論と検討を重ねました．初日の夜は生憎の雨模様となり，バーベキューは屋内での実施に変更となりましたが，舌鼓を打ちつつその後の懇親会でも他学部の先生方との交流を深め，大変有意義な2日間となりました．

参加者：高見正道教授，弘中祥司教授，山本松男教授，中納治久教授， 鈴木規元教授，
桑田啓貴教授，中村史朗教授，高場雅之准教授，安部勇蔵講師
タスク：船津敬弘教授，野中直子教授，美島健二教授，坂井信裕教授．

行事予定

＜広報委員長　　柴田　陽＞

11月14日（土） 学校推薦型選抜入試，卒業生推薦入試，編入学試験
11月15日（日） 故 小口勝司 前理事長 お別れの会
11月20日（金） イルミネーション点灯式

編集後記

＜口腔生化学講座　山田　篤＞

教育者のためのワークショップ アドバンストコースにおける故 小口勝司 前理事長のご講演が，今も深く心に残っています．歯学部においては，歯科医師国家試験の合格が重要な到達目標の一つである一方，試験対策に時間を割けば，患者とのコミュニケーション能力や倫理観を育む教育に十分な時間を確保することが難しくなるという，本質的なジレンマがあります．この課題に真摯に向き合い，ご自身のお考えを率直に示してくださいました．長年にわたり教育に携わる中での葛藤を丁寧に語られたお姿に，深い敬意を抱きました．このたびの突然の訃報に接し，驚きと深い悲しみを禁じ得ません．

故 小口勝司 前理事長のご功績に心より敬意を表するとともに，ご冥福を心よりお祈り申し上げます．

昭和医科大学　歯学部だより　通算２４２号 2026年１０月発行
発行責任者：歯学部長　馬場　一美 編集責任者：広報委員会委員長　柴田　陽
９・１０月号編集委員：山田　篤（広報委員会）
〒142-8555　東京都品川区旗の台1-5-8　TEL：03-3784-8000
ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp